



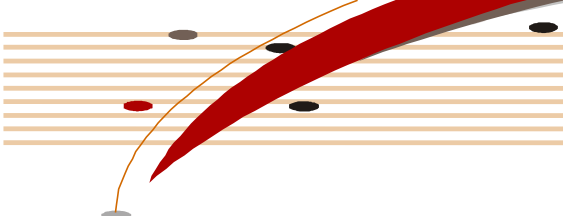
3年次演習

第2回 研究論文の読み方

人間科学科コミュニケーション専攻
白銀 純子

今回の内容

- 論文とは？
- 論文の種類
- 論文の読み方



論文とは？

「論文」とは？

- 研究者たちが研究の内容をまとめたもの
- 分類
 - 学位論文
 - ジャーナル論文
 - プロシーディング(Proceeding)
 - ポジションペーパー
 - レター論文
 - サーベイ(レビュー)論文

学位論文

- 学位(学士 or 修士 or 博士)を取得するためにまとめた論文
- 各大学に提出し、大学が保管
- おおむね数十ページ
- 大学により、公開されている場合と非公開の場合
 - 入手できる場合とできない場合どちらもあり

ジャーナル論文

- 学会などによる「論文誌」(ジャーナル)に掲載された論文
 - 論文誌: 学術雑誌とも
- 研究の問題意識や目的、手法、評価、考察など、論文として書くべき内容すべてが記述されたもの
- 複数の第三者から査読され、認められたもの
 - 査読: 第三者によって論文が読まれて評価されること
- 一般的には他の分類の論文よりも査読が厳密で、質が高
 - ただし、質は掲載される論文誌のレベルにも依存
- 多くの場合、8ページ～十数ページ程度
- 研究としての終着点

プロシーディング(Proceeding)

- 口頭発表の会議で発表された論文
 - 会議で発表された論文をあつめて冊子にしたものを「予稿集」または「プロシーディングス(Proceedings)」
- 研究の問題意識や目的、手法、評価、考察など、論文として書くべき内容すべてが記述されることもあり、評価・考察までではないものもあり
- 第三者からの査読がされる場合もされない場合もあり
 - 査読がされる場合の厳密さは、会議のレベルに依存
- 研究のある程度の成果を発表したもの
 - 考え方によっては、ジャーナル論文に向けての途中の成果
- 多くの場合、6～十数ページ程度

ポジションペーパー

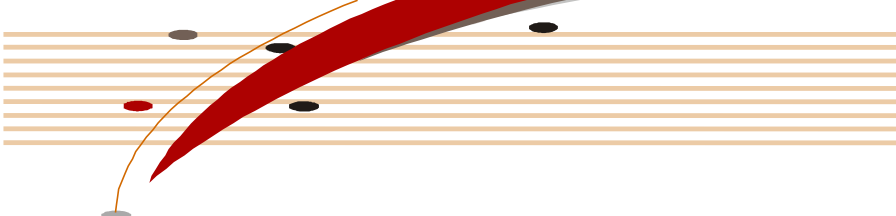
- 「ワークショップ」という形式の会議で発表した論文
 - ワークショップ: 個々のアイデアを持ち寄ってディスカッションをする形式の会議
 - 他の口頭発表の会議は、発表して質疑応答で終わり
- 研究のアイデアレベルの内容が記述
 - 研究の問題意識や目的が記述されていて、手法は記述があったりなかったり
- 多くの場合査読はなし
 - ワークショップのテーマに沿っている論文か、公序良俗に反しないか、程度の確認がされることはあり
- 多くの場合、2～4ページ程度

レター論文

- 学会などによる「論文誌」(ジャーナル)に掲載された論文
- 速報性が重要視
 - ジャーナル論文のような厳密性(書き方や評価・考察の客観性など)はそれほど求められない
- 第三者から査読され、認められたもの
- 多くの場合、2～4ページ程度

サーベイ(レビュー)論文

- 学会などによる「論文誌」(ジャーナル)に掲載された論文
- 研究成果に関する論文ではなく、様々な他者の論文の紹介
- 第三者から査読され、認められたもの
- 多くの場合、8～十数ページ程度



論文の読み方

読むべき論文と見分け方は？

- 読むべき論文
 - とりあえずはジャーナル論文とプロシーディング
- 見分け方
 - 6ページ以上、なるべく8ページ以上
 - かつ、研究の紹介に終始していない論文

ライバル論文とお勉強論文

- 自分の研究テーマに照らし合わせると、論文は2種類!
 - ライバル論文とお勉強論文
- ライバル論文
 - 自分の研究テーマと共通する研究テーマの論文
 - 問題意識や目的などが共通
 - 書いてある内容を疑って読むこと(批判的に読むこと)が必要
- お勉強論文
 - 自分の知識を蓄えたり、研究の中で利用する手法を勉強したりするための論文
 - 自分の研究テーマとはまったく関係ないこともありえる
 - 内容を理解し、自分の研究で使えるかどうかを考えることが必要

論文を読んで理解するもの

- 著者にとっての問題意識は何か?
 - 研究の目的は何か?
 - 研究の対象範囲(スコープ)はどのようなものか?
 - どのような手段で目的を達成しているか?
 - 研究の結果について、著者はどのように考えているか?
- ➡ 第1章・第2章あたり
- ➡ それ以外(間の章)
- ➡ 最後の1・2章あたり

問題意識と目的

- 論文の著者にとっての問題意識
 - 著者は、現状の世の中がどうなっていると考えているか？
 - 著者は、世の中の何が問題と考えているか？
- 研究の目的
 - 問題解決のために、著者は何を目的と定めたか？
 - 目的を達成することで、どんな利点があると著者は考えているか？

問題意識と目的(ライバル論文だと...)

● 論文の著者にとっての問題意識

- 著者は、現状の世の中がどうなっていると考えているか？
- 著者は、世の中の何が問題と考えているか？

- 現状認識は正しい？
- 本当にそれは問題？



自分が認識している現状や問題点と一致している？

● 研究の目的

- 問題解決のために、著者は何を目的と定めたか？
- 目的を達成することで、どんな利点があると著者は考えているか？

- 本当にその目的を達成すると、問題解決になるの？
- なぜ、それが利点になるの？



自分が問題解決のための目的や利点を考えるとどうなる？

研究の対象範囲(スコープ)

- 研究の目的を達成するために、制限がついていることも多い
 - 対象とする人(男・女・年齢, etc.)、システム(Web・スマホ・ビジネスソフト, etc.)の範囲
 - 適用している手法
 - etc.
- 制限は、明示されている場合とされていない場合がある

研究の対象範囲(スコープ)(ライバル論文だと...)

- 研究の目的を達成するために、制限がついていることも多い
 - 対象とする人(男・女・年齢, etc.)、システム(Web・スマホ・ビジネスソフト, etc.)の範囲
 - 適用している手法
 - etc.

➤ 対象範囲は妥当なの?

➤ 対象以外の範囲について研究するとどうなりそう?

➡ 異なる対象範囲で研究ができないか?

- 制限は、明示されている場合とされていない場合がある

➡ 論文をよく読んで理解する必要!

目的を達成する手段

- 論文の研究で採用している手段
 - どのような手段を採用しているか？
 - 採用した手段をどのように研究に適用しているか？
 - オーソドックスに適用しているか？
 - アレンジして適用しているか？

目的を達成する手段(ライバル論文だと...)

- 論文の研究で採用している手段

- どのような手段を採用しているか?
- 採用した手段をどのように研究に適用しているか?
 - オーソドックスに適用しているか?
 - アレンジして適用しているか?

➤ 採用した手段は妥当か?

➤ 手段の適用方法は妥当か?



他に適用できる手段はないか?

研究結果

- 研究の目的に対する、研究結果の著者の解釈
 - どのような客観的事実をもとに、目的が達成されたと著者は解釈しているか？
 - 目的の中で、達成できていない部分や不十分な部分はあるか？
 - 今後に積み残した課題はあるか？

研究結果

- 研究の目的に対する、研究結果の著者の解釈
 - どのような客観的事実をもとに、目的が達成されたと著者は解釈しているか？
 - 目的の中で、達成できていない部分や不十分な部分はあるか？
 - 今後に残った課題はあるか？
 - 研究結果の解釈は妥当か？
 - 本当にその結果で、著者の目的が達成できているのか？
 - ➡ 目的の達成できていない部分や不十分な部分、積み残しの課題などを研究テーマにできないか？

論文の探し方(1)

- まず最初にタイトルとアブストラクト(概要)!
 - タイトル: 論文につけるタイトル
 - 研究テーマを簡潔に表したもの
 - アブストラクト: 論文の内容を短く要約した文章

- タイトルとアブストラクトをもとに、しっかり読む論文を決める
- アブストラクトを読んで、論文の概要をつかむ

論文の探し方(2)

- 電子データがある論文
 - 1つずつファイルになっていることが多いので、入手は簡単
- 電子データがない論文：掲載誌の情報をもとに入手
 - ジャーナル論文：論文誌のタイトル・巻数・号数の情報が必要
 - 巻数・号数：「2015年4月号」とか「Vol. 15, No. 4」など、毎月とか隔月などで出るので、番号を把握しておくことが必要
 - プロシーディングス：会議の名前と開催年の情報が必要
 - 毎年とか隔年などで会議が開催されるので、開催年の情報が必要
 - 場合によっては、会議の開催場所の情報が必要なことも

論文の探し方(孫引き)(1)

- ある論文で示されている引用文献を入手すること
 - 論文で使われている概念や手法など: 「詳しい説明は、この論文(書籍)にあるよ」と、別の文献を示している場合も多い

➡ 詳しく知りたいときは、その別の文献を入手する必要

第1章

...略...

ゴールモデル(山本, 2007)を用いて表す。

...略...

すぐそばにある文献の名前(or 番号)を見る

「ゴールモデル」って何???



論文の探し方(孫引き)(2)

第1章

...略...

ゴールモデル(山本, 2007)を用いて表す。

...略...

- 論文の最後にある引用文献リスト(参考資料リスト)を見る
- 文献の名前を探す

引用文献

...略...

(山本, 2007) 山本: ~ゴール指向による!!~システム要求管理技法,
ソフト・リサーチ・センター, 2007

...略...

求める文献の情報なので、これをもとに入手する

論文の読み方(研究テーマを決めるために)

- 読むときの優先順位
 - 第1章: 著者の問題意識や研究の目的、研究の利点を理解する
 - 研究の利点が別の章になっているときは、その利点の章も読む
 - 最後の章: 研究結果や積み残した課題を理解する
 - 予備知識の章: 論文を読む上で必要な前提知識を理解する
 - 前提知識が必要な場合に
 - その他の章

まずは、研究として「何をしているか?」と「利点は何か?」を理解することが重要

論文を読み終わったら

- どこかに、読んだ内容と自分の意見、出典情報をまとめておくこと
 - 論文の概要や利点・欠点
 - 自分の意見
 - 論文の掲載
 - ジャーナルのタイトルや巻数・号数、出版年
 - プロシーディングスの名前や会議の開催年
 - etc.

卒論を書くときに必要になるため

- まとめておかないと、卒論執筆時に論文を読み返すことになって無駄!
- しかも、卒論では引用文献のリストの分量も重要!

やってみよう!

- 卒論CDの中からおもしろそうな論文を選んで、読んでみよう!
- 理解すべきこと
 - 著者にとっての問題意識
 - 研究の目的
 - 研究のスコープ
- 考えるべきこと
 - 研究の欠点
 - スコープ外の内容
 - 解決できていない問題点
 - etc.

次回

- 次回：研究論文の探し方(図書館ガイダンス)
 - 情報処理教室のアカウントが必要!